

55. 常温煙霧法

・殺菌剤（参考農薬）

FRAC コード	作物名	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
1	トマト	ベンレート水和剤	常温煙霧	収穫前日まで	5回以内	

注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決められているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。

注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける（「薬剤抵抗性管理」参照）。

注3) 蚕毒・魚毒については、「56. 野菜類の総括注意」も参照する

作物名	薬剤名	対象病虫害	使用量 (10a 当たり)	注意事項
トマト	[参考農薬] ベンレート水和剤	灰色かび病	薬剤 150 g 水 5 ℓ	1. 専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧する。 2. 防除効果が低い場合は、耐性菌の発生が疑われるので、他系統の散布剤による防除に切り替える。

【常温煙霧消毒上の注意】

- (1) 常温煙霧装置の選定、使用に当っては病虫害防除所、農業農村支援センター等の関係機関の指導を受ける。
- (2) 常温煙霧機の吹出し口付近では、ビニール等で作物を覆い、直接薬液がかからないようにする。
- (3) 作業はできるだけ夕刻に行い、作業終了後6時間以上密閉する。